

別添 4 : 標準測定分析法

物質名 : 塩化アリル

化学式 : $\text{CH}_2=\text{CHCH}_2\text{Cl}$ 分子量 : 76.63

CASNo : 107-05-1

許容濃度等 :	物性等
OSHA (PEL) 1 ppm	沸 点 : 45 °C
NIOSH (REL) 1 ppm, STEL 2 ppm	融 点 : -135 °C
ACGIH TLV-TWA 1 ppm , STEL 2 ppm	蒸気圧 : 39.3 kPa (295 mmHg)
	形 状 : 刺激臭のある無色の液体

別名 3-クロロ-1-プロペン, 1-クロロ-2-プロペン

サンプリング	分析
サンプラー : 固体捕集管 (ヤシガラ活性炭, 100 mg/50 mg) サンプリング流量 : 0.01~1.0 L/min 試料空気量 : -最低 16 L, -最大 100 L 保存性 : 25 °Cで 17 日間、5 °Cで 21 日間まで 90%以上の保存性を確認	分析方法 : ガスクロマトグラフ法、FID 脱着 : 1.5 mL の二硫化炭素 時々振とうさせ ながら 1 時間 分析機器 : 島津 GC-14B カラム : URBON HR-1 30 m, 0.53 mm φ, 3.0 μm 注入量 : 1 μL 注入口温度 : 130 °C 検出器温度 : 130 °C カラム温度 : 60 °C キャリアガス : He 10 mL/min 検量線 : 40-170 μg/mL の範囲で直線性が得ら れている。
精度	
脱着率 ; 添加量 61.6μg 100±5 % (n = 5) 定量下限 採気量 20 L のとき 0.1 ppm	

適用 :

妨害 :

この塩化アリル標準分析法は「発がん性、生殖毒性、神経毒性等有害性の考えられる物質に対する作業環境測定手法の検討報告書 (平成 13 年 3 月 (社) 日本作業環境測定協会)」に記載された内容をまとめたものであり、職場におけるリスク評価推進事業 (ばく露実態調査) で開発した測定分析手法ではない。